

図書だより

第8号

2017. 6. 12

福島県立只見高等学校

図書部



放課後、受験勉強に打ち込む3年生の姿が見られます。部活動の大会が終わると、いよいよ受験生モードに入ります。ガンバレ！ 君たちには時間がない！

私には本がある。

(田部井淳子「私には山がある」)

■新しく入った本

『銀の匙』

中 勘助 新潮文庫

愛情に包まれた幼少期、腕白坊主たちが待つ小学校入学、淡い恋心、少年から青年に成長するまでを回想する自伝的作品。

『未来いそっぷ』

星 新一 新潮文庫

時代が変われば話も変わる。
「アリとキリギリス」など誰でもご存じのお話。愉しい笑いと痛烈な風刺で、あなたを別世界に案内するショートショート33編。

『ボトルネック』

米澤穂信 新潮文庫

亡くなった恋人を追悼するため、東尋坊を訪れていたぼくは、何かに誘われるようにな断崖から墜落した……。青春ミステリの金字塔。

6. 19 桜桃忌



6月19日は、太宰治(1909~1948)の命日。1935年発表の『逆行』が芥川賞候補となり注目される。1947年の『斜陽』はベストセラーとなる。愛人と玉川上水に入水自殺。6月19日は太宰の誕生日もある。青森県出身。生家は太宰治記念館「斜陽館」として人気の観光スポット。作品『桜桃』から命名された。

『ゼツメツ少年』

重松 清 新潮文庫

夢より、希望より、正義より、もっと大切なものがいるんだ。想像力の奇跡を信じ、哀しみの先にあるひかりを探す、驚きと感涙の長編。

『リア友トラブル』

NHKオトナノベル制作班

10代のリアル悩みにこたえる3つのストーリー。「トリプル・コネクション」「ぼっちレボリューション」「許してもらえない」

『先生、貧困ってなんですか？』

もやい 合同出版

高齢者や子どもの貧困が深刻って聞くけど、何がどう問題なの？ 日本の貧困について12の切り口からわかりやすく解説。

『博多豚骨ラーメンズ』

木崎ちあき メディアワークス文庫

福岡は一見平和な町だが、裏では犯罪が蔓延している。今や殺し屋の激戦区で、殺し屋専門の殺し屋がいるという都市伝説もあった。

■図書室で新聞が読めます！ NEW

今年度、文部科学省が学校図書館で新聞が読めるようにと予算化しました。ところが福島県ではその予算を別なことに使ってしまい、新聞を配架することが出来ませんでした。そこで本校では、先生方がとっている新聞を図書室に置いて、みなさん利用してもらおうということになりました。どうぞ有効に活用してください。利用は星休みからになります。

なお、先日本校に県の教育次長が来校した際にこの問題を「直訴」したところ、「来年度は新聞代に回す」旨の返事がありました。

登山靴穿いて歩幅の決まりけり

後藤比奈夫